

“つながる・つなげる” 佐賀から岩手へ

佐賀大会実行委員会委員長 小川 裕子

会員の皆様、8月に開催いたしました全国公立学校教頭会研究大会佐賀大会へのご参加、ありがとうございます。大会史上初の試みとなったオンラインによる佐賀大会でしたが、佐賀と上手くつながることはできましたでしょうか？コロナ禍により、佐賀にお迎えすることはできませんでしたが、遠く離れていても佐賀大会にご参加していただいた全国各地の先生方に、心より感謝申し上げます。本大会を通して、佐賀が大切にしてきた「志」「豊かな心」「未来を切り拓く」ということが伝わったのでしょうか？

1日目には、元広島東洋カープの監督、緒方孝市様にご講演いただきました。午後からのシンポジウムでは、富吉賢太郎様をコーディネーターにお迎えし、日本画家の中島潔様、坪田塾塾長の坪田信貴様、竹下製菓社長の竹下真由様といった、立場の異なる方々から貴重なお話を拝聴することができました。

私たちがこれから各学校でリーダーシップを取っていくためのヒントをたくさん得られたのではないかと思います。話の内容をどうとらえ、そして、どう生かしていくかは、私たち自身の意識次第であるように思います。

2日目は、各分科会での協議が活発に行われました。ネット環境がうまくいかなかったところもあったかもしれませんが、1,800名の先生方とつながっていたことで、お許しいただければ幸いです。

各ブレイクアウトルームでは、全国各地の先生方とつながり、協議ができたことはとても貴重な経験となりました。佐賀はフルメンバーでの参加でしたので、先生方とつながり、たくさんのお話を学ぶことができました。同じように、全国各地からご参加の先生方は、ブレイクアウトルームでの協議を通して、日々の職務を振り返りながら、自分の勤務校ではこんなことができそうだと、考えを広げ深める機会になったならば、これ以上に嬉しいことはありません。

今回、参加頂いた先生方は、全国各地から代表で参加していただいた皆様です。ぜひ、大会の意義を考えていただき、それぞれの場所で、参加できなかった先生方と佐賀大会で得られたことを共有していただければ幸いです。

本大会は「つながる・つなげる」が大事なポイントになりました。

- ①オンラインでつながる
- ②協議を通して考えをつなげる
- ③講演・シンポジウム・協議の内容を自分につなげる
- ④自分の周りの先生方につなげる・・・ことです。

これからもいろいろな形で、全国の先生方とつながることができれば幸いです。

これまで大会に向けて、主催者としてご指導、ご助言をたまわりました全公教本部の皆様、また、物心両面で本大会を支えていただきました県内外の全ての先生方、各都道府県事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。

来年度開催の岩手の皆様におかれては、これから本格的な準備に入られることと思いますが、佐賀大会の反省を生かして、さらに活発な協議ができる大会にしていただきますことを祈念しております。佐賀の全会員で応援しております。

全国各地の先生方にも、来年度の岩手大会へのご協力をお願い致しまして、佐賀大会閉会の挨拶と致します。2日間、本当にありがとうございました。